

2021年度 神戸国際中学校・高等学校 学校経営方針

春暖の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、本校の教育活動に対しまして、多大なるご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

今年度、学校経営方針説明会は新型コロナウイルス感染防止のため中止とさせていただきますので、文章にてご説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。

昨年度は、とにかく新型コロナウイルスに振り回された1年でしたが、今年度につきましてもまだまだ収束にはほど遠く、先が見通せない状況ではありますが、今後も状況を注視し、できる限りKISにおける教育活動を停滞させず、成果を上げられるよう努めてまいりたいと考えております。

さて、昨年度の生徒募集活動計画も新型コロナの関係でほとんど実施できず、中高とも今年度入学生は減少しました。しかし、そのような中でも年々在校生徒数は増やすことができ、今年度は248名の在校生でスタートしております。これも保護者の皆様のご理解とご支援のお陰と感謝申し上げる次第です。これからも生徒たちの学力・語学力・人間力を育み、生徒一人一人に寄り添った学習指導と進路実現に努め、さらに信頼される学校づくりに邁進していきたいと考えております。我々教職員一同、保護者の皆様のご期待に添えられるよう、気を引き締め、全力で頑張っている決意でございますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、今年度の学校経営方針について、添付させていただいてます資料に沿ってご説明させていただきます。

皆様もご存知のように、本校の母体は学校法人睦学園です。睦学園は、3つのキャンパスに、兵庫大学・兵庫大学短期大学部・兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校・兵庫大学附属加古川幼稚園・同須磨幼稚園、そして神戸国際中学校高等学校の7つの学校園を持つ総合学園です。今年度、KIS は創立31年目になりますが、睦学園としては2年後の2023年に創立100周年を迎えます。

資料のはじめに、本学園の建学の精神を明記しておりますが、これは聖徳太子の17条憲法の「和を持って貴しと為す」の「和」を建学の精神としております。聖徳太子の和の精神という古臭いと思われるかも知れませんが、グローバル社会とは様々な人種や文化、また宗教や考え方を認め合い、互いに協力していかなければならない社会のことです。実は、これこそが和の精神ではないでしょうか。和の精神は、決して古臭い考えではなく、まさに現在のグローバル社会に必要な精神だと考えております。そして、次に「感謝」「寛容」「互譲」の学園訓を明記しております。

「和」の建学の精神が本校の全ての教育活動の根底にあり、学園訓である「感謝」「寛容」「互譲」の心を日々の教育活動のあらゆるところに浸透させていきたいと考えております。そして、この建学の精神と学園訓は、KIS が続く限り変わることはないものでもあります。

次のタグラインですが、分かりやすく言えばキャッチコピーのようなものです。本校を一言で表す言葉としては、ピッタリだと思っております。このタグラインは、現理事長の熱い思いが込められた本校が目指す学校像でもあります。このタグラインにありますように、KIS を女子進学校として発展させていきたいと考えております。

一つ目の、「少人数制を活かした丁寧な学習指導により、学力・語学力の伸長を図る」とは、学校としてはやはり少人数制を活かし、生徒一人一人に丁寧な学習指導を行い、基礎・基本をしっかりと定着させ、学力を伸ばし、進路を保障することが学校の使命だと考えております。昨年度から、コンサルテーション・システムを導入し、少人数制をさらに活かした生徒一人一人に寄り添った学習指導・進路指導に取り組んでおります。これは、コーチング理論に基づいたシステムであり、生徒たちの学習や進路についての悩みを的確に支援・アドバイスする取り組みです。生徒一人一人の現状把握、目標達成への計画、具体的な支援内容等を担任はもちろん主要5教科担当の教員との面談を通して進めていく取り組みです。この取り組みを実行性のあるシステムとして確立し、さらに効果的に学力の伸長並びに進路実現を図っていきたいと考えております。当然のことですが、生徒たちの学力を向上させなければ、生徒たちの進路選択の幅は狭いものになってしまいます。生徒の進路目標を実現させるためには、学力の向上は必要不可欠であり、全力で取り組んでまいります。

二つ目の、「人間力を育む」とは、これからの先行き不透明な社会、複雑化する社会において、逞しく自己の夢を切り拓いてためには人間力の育成は欠かせないと考えます。本校の海外研修やオラトリカルをはじめとする多様な学校行事、また高校1年生で取り組む課題探究を通して人間力を育んでいきたいと考えております。このような本校がこれまで実践してきた教育内容は、必ずや今後拡大される大学のAO入試や推薦入試に活かされると考えております。以上の二項目が、本校を進学校として発展させていくための指針であります。

次の目指す生徒像につきましては、どんな生徒を育てていくのかということです。

一つ目の、「21世紀のグローバル社会で活躍する個性豊かで逞しい女性」については、前述しました本校の「和」の建学の精神に基づくものであり、本校開校以来掲げられているもので今後も目指す生徒像として大切にしていきたいと考えております。

二つ目の、「自主・自律的に考え、他者と協同して新しい社会的価値を創造できる女性」とありますが、これはこれからの21世紀の社会において求められる人材像であり、また現在各企業が求めている人材像でもあります。この目指す生徒像の育成については、次の重点目標の中に具体的に組み込んでいます。

一つ目に、「学力」「語学力」「人間力」を育み、21世紀型スキルの獲得を目指す学校を掲げております。21世紀型スキルとは、資料の下段に枠で囲っているところにあるような能力のことです。一言で言えば、21世紀以降の社会で活躍するために必要な能力であり、文部科学省では生きる力にテクノロジーの力を利用できることを色濃く加えたものが21世紀型スキルと言っています。

- (1) 先生方の教科指導力の向上と新学習指導要領に対応した授業や評価の工夫・改善、丁寧な生徒からの質問対応及び学習意欲の高揚と家庭学習習慣の確立に努めていきます。そのために、授業時間をこれまでの45分から50分に改め(月～金6限(一部7限)土4限)、授業の充実を図るとともに長くなった放課後の時間を質問対応や個別指導等有効に活用していきます。そして、中学のアフタースクールスタディにチューター制度(卒業生の活用)を導入し、細やかな学習支援を行い基礎学力の定着に努めます。また、ICT機器の活用を積極的に進める中で情報リテラシーを身に付けるとともに、アクティブラーニングを推進し、思考力・判断力・表現力や自ら学びに向かう力などを効率的に育みます。そのため今年度、高校棟の全教室に電子黒板を設置します。授業の工夫・改善や学力の伸張は、保護者アンケートからの要望としても出されており、学校としてもしっかりと対応していきたいと考えております。
- (2) 21世紀のグローバル社会で活躍するためにも、また今後の大学入試対応のためにも英語の4技能の習得とCEFR B-1・B-2レベルの資格取得をさらに推進していきます。また、コロナ禍でありますのでオンラインによる語学研修や国際交流も工夫・検討し、実施していきたいと考えております。
- (3) 多様な学校行事や体験活動、課題探究を通して、自主性・創造力・表現力を養い、「感謝」「寛容」「互譲」の心をあらゆる教育活動において展開し、良好な人間関係を構築できる力を身に付けさせるとともに、道徳・人権教育の充実や生徒会活動やボランティア活動等を通して人間力を育てていきたいと考えております。

二つ目ですが、信頼される学校となるためには、やはり生徒・保護者の皆様の満足度を上げることは大変重要だと考えております。そのためにも、教職員の共通理解と協働体制のもと取り組んでいきたいと考えております。

以上、今年度の学校経営方針の説明でしたが、特に私が何に主眼を置いて学校経営を進めていくかについてもう少しお伝えしたいと思います。

私は、この学校をさらに人気があり、魅力のある学校にしていきたいと考えております。この学校を人気・魅力のある学校にするには、まず現在本校で学んでいる生徒たちを大切にすることだと考えております。本校で学んでいる生徒を第一に考え、繰り返しになります。学力だけでなく、語学力・人間力を育み、そして出口を保証することが生徒・保護者の皆様の満足度を上げることになり、そのことが人気・魅力ある学校づくりの一番の方法だと考えております。私の学校経営方針を一言で言えば、この生徒・保護者の皆様の満足度をアップさせることだと申し上げてもいいと考えておりますし、このことを私自身最も重要な目標として学校経営を進めております。また、教職員にとっても同様でなければならぬとも考えております。そして、それを実現するためには、各教員の使命感や教育愛に基づいた授業力と指導力の向上が必要不可欠になります。極論すれば、この教員の授業力と指導力の2つさえしっかりすればおのずと学力向上も、その他の教育活動の実績も、進路保障も達成できるというものです。そのため、引き続き教員の学校内外における研修の機会を増やしていくとともに、自己研鑽に励めるよう環境整備を進めていきます。そして、本校で学ぶ生徒たちが「KISで学んで良かった」と言ってくれるように、また保護者の皆様方が「KISに入学させて良かった」と言ってくださるよう全力で頑張っていきたいと考えております。そして、さらに進路指導・キャリア教育を充実させ、生徒自身がしっかりと将来の目標を持ち、それに向かって粘り強く努力するよう指導していく所存です。また、爽やかな挨拶をはじめ基本的な生活習慣の確立についてもしっかりと指導していきたいと考えております。

最期に、保護者の皆様にお願ひがあります。学校の教育成果をさらに上げるためには、もちろん我々教職員が努力するのは当たり前ですが、それだけでは十分でないと考えております。やはり、ご家庭のご協力が必要です。勉強は基本的に楽しくないし、また楽なものでもありません。学校では、できるだけ生徒のモチベーションを上げるように工夫して指導いたしますが、どうぞご家庭でも家庭学習習慣の確立にご協力いただけますようよろしくお願いいたします。また、お子様が勇気を持って何事にも積極的にチャレンジするように背中を押していただきたいと思っております。

今後とも、ご家庭と学校の連携を密にし、力を合せて、生徒たちの学力と心を育む素晴らしい学校にしていきたいと考えております。どうぞ保護者の皆様方におかれましては、本校の教育活動に対しましてご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。令和3年度の学校経営方針の説明とさせていただきます。

学校法人 睦学園 神戸国際中学校高等学校
校長 澤田 陽一

2021年度 学校経営方針

教育理念

本校は、聖徳太子が17条憲法で示された「和」を建学の精神とする。
感謝（生かされる心）・寛容（信じあう心）・互譲（たすけあう心）の学園訓をあらゆる教育活動において展開し、21世紀のグローバル社会で活躍する有為な人材を育む。

タグライン（目指す学校像）

「個を生かす 進学に強い女子校」

- 1 少人数制を活かした丁寧な指導により、学力・語学力の伸長を図る。
- 2 多様な行事・体験活動を通して、人間力を育む。

目指す生徒像

- 1 21世紀のグローバル社会で活躍する個性豊かで逞しい女性
- 2 自主・自律的に考え、他者と協同して新しい社会的価値を創造できる女性

重点目標

- 1 「学力」「語学力」「人間力」を育み、21世紀型スキルの獲得を目指す学校
 - (1) 基礎学力の定着と応用力の育成（中高一貫・少人数制の利点を最大限に活かす）
 - ◇ 教科指導力の向上と新学習指導要領に対応した授業・評価の工夫・改善
 - ◇ 丁寧な生徒からの質問対応及び学習意欲の高揚と家庭学習習慣の確立
 - ◇ ICTを活用した授業及びアクティブラーニングの推進
(深い学び、思考力・判断力・表現力、自ら学びに向かう力の育成)
 - (2) 21世紀のグローバル社会で活躍できる力の育成
 - ◇ 英語の4技能の習得及びCEFR - B1・2レベルの資格取得の推進
 - ◇ コロナ禍における語学研修(海外・国内)、国際交流、海外留学の工夫・実践
 - (3) 人間力を育む教育の実践
 - ◇ 自主性・創造力・表現力を養う学校行事及び多様な体験活動の推進
 - ◇ 感謝・寛容・互譲の心を育む教育及び道徳・人権教育の充実
 - ◇ 生徒会（委員会）活動の活性化及びボランティア活動の推進
- 2 信頼される学校
 - (1) 生徒・保護者の満足度の向上を図る教育活動の実践
 - (2) 生徒理解に基づいたきめ細やかな生徒指導の実践
 - (3) 教職員の共通理解と協働体制の確立

21世紀型スキル

「創造力を伸ばし、イノベーションを起こす」「批判的思考・論理的思考ができる」「情報リテラシーを持つ」「コミュニケーション力に優れ、コラボレーションできる」「国際社会での市民性を持つ」「問いを立てることのできる」などの能力であり、授業をはじめ教育活動全体を通して育む。